

(第4号様式)

平成17年3月31日

財団法人 山形県生涯学習文化財団

理事長

殿

実行委員会名 地域づくり協働WS(ワークショップ)実行委員会

代表者名 NPO法人山形専門家ネットワーク

理事長 富澤 敏勝 印

平成16年度地域づくりグループ連携広域学習事業  
(NPOまなびネット講座)の実施報告書の提出について

このことについて、下記のとおり提出いたします。

記

- 提出書類 1 平成16年度 地域づくりグループ連携広域学習事業  
(NPOまなびネット講座)実施報告書  
・(様式第5号)
- 2 収支決算書  
・(様式第6号)

添付：最終の受講者名簿(添付10)

(第5 - 1号様式)

平成16年度 地域づくりグループ連携広域学習事業  
(NPOまなびネット講座) 実施報告書

実行委員会名 「地域づくり協働WS(ワークショップ) 実行委員会」

学習コース(講座等)の名称	実践的手法から学ぼう!! これからの「地域づくりの潮流、課題そして解決(しくみづくり法)」 (形態区分: W)
主催者(共催者)	財団法人 山形県生涯学習文化財団
学習コース(講座等)の概要	基礎研修講座(2講座×2会場=4回) 実践事例研修講座(3講座×2会場=6回) 事業展開研修講座(2講座×2会場=4回) 合計14回
当初のねらい及び期待した成果等 (実施計画書の記載事項)	<p>かつての経済成長が望むべくもないこれからの少子高齢化社会の閉塞状況をブレークスルーする方法のひとつは地方・地域の蘇生と考えられます。企業などの雇用も伸び悩む中、「連携 協働の推進」による地域づくりがその鍵といえます。</p> <p>また、様々な分野・領域において地域づくりが実践されておりますが、これまでいろんな場を借りて強調してきました地域づくりを効果的に運営するための「経営マインドの醸成」がようやくこのところ指摘され始めました。</p> <p>しかし、まだ、その具体的実践の事例があまり聞こえてきません。</p> <p>今回実行委員会を結成しました5つのグループはそれぞれ理念、使命(ミッション)、手法、さらにはその実践面にて特徴のある「地域づくり」を地域で展開しているグループです。</p> <p>このグループの連携・協働により保有している多岐にわたる実践ノウハウを提供し、受講者とのワークショップを通じて地域内に新しい「地域づくりの芽」と「それらの連携」が生まれることが狙いです。</p> <p>そのために添付 1に示すような「基礎研修WS講座」「実践事例研修WS講座=事例に学ぶ=」「事業展開研修WS講座」を予定し、受講者がこれらを受講することにより地域づくりの潮流、課題そしてその解決(しくみづくり)法を体得できる成果が期待できます。</p>
開設期間 開設時間	平成16年9月11日 ~平成17年2月26日(全14日間) 土曜日 時間帯 9:00~12:00 13:00~16:00 16:00~19:00 14:00~17:00 15:00~18:00

受講対象者		社会人一般（地域づくりの担い手、リーダー&その候補者）		募集人員	10~15人/回	受講料	500円/回
実行委員会	氏名	職名		受講者の募集等			
	委員長 富澤敏勝 副委員長 松田充弘 副委員長 横山直幸 監事 鈴木幸子 委員 松田道雄 委員兼事務局長 黒沼貞志	NPO 法人山形専門家ネットワーク理事長 NPO 法人YAN理事長 長井村塾事業部長 ユニバーサルデザイン研究会代表 駄菓子屋楽校主宰 NPO 法人山形専門家ネットワーク会員		1 募集期間 H16年7月1日~H16年12月15日 2 申込方法 FAX, Eメール、郵送 3 申込先 〒990-0042 山形市七日町一丁目4-31 山形ソフトホテル新館2F長岡法律事務所内 「地域づくり協働WS(ワークショップ)実行委員会」 電話:023-624-1166 4 決定方法:先着順を予定 5 広報媒体:チラシ、市広報・HP、総合支庁のHP、実行委員所属団体HPなど			
	構成団体	NPO 法人山形専門家ネットワーク NPO 法人やまがたアビリティーズネットワーク(YAN) 駄菓子屋楽校 長井村塾 ユニバーサルデザイン研究会					
回	月日(曜)	講座・テーマ内容等	講師(職・氏名)	会場(市町村・名称)	時間帯	時間数	
1	9/11	基礎研修講座No1@山形	黒沼 小林	山形市	13:00~16:00	3時間	
2	9/11	基礎研修講座No2@山形	黒沼 松田(充) 林 横山	同上	16:00~19:00	同上	
3	9/25	基礎研修講座No1@長井	黒沼 関東	長井市	13:00~16:00	同上	
4	9/25	基礎研修講座No2@長井	黒沼 松田(充) 林 横山	同上	16:00~19:00	同上	
5	10/9	実践事例研修講座No3@山形	関東	山形市	9:00~12:00	同上	
6	10/9	実践事例研修講座No4@山形	黒沼	同上	13:00~16:00	同上	
7	10/23	実践事例研修講座No3@長井	横山	長井市	13:00~16:00	同上	
8	10/23	実践事例研修講座No4@長井	結城	同上	16:00~19:00	同上	
9	11/13	実践事例研修講座No5@山形	細谷 丹波 古川	山形市	14:00~17:00	同上	
10	11/27	実践事例研修講座No5@長井	細谷 古川	長井市	15:00~18:00	同上	
11	12/11	事業展開研修講座No6@山形	黒沼 関東 横山	山形市	13:00~16:00	同上	
12	1/22	事業展開研修講座No6@長井	黒沼 関東 横山	長井市	同上	同上	
13	2/12	事業展開研修講座No7@山形	黒沼 松田(充)	山形市	同上	同上	
14	2/26	事業展開研修講座No7@長井	黒沼 松田(充)	長井市	同上	同上	
講座回数 計 14 回			講師計30名(実員7~10名)		時間数 計42時間		
連絡責任者		施設・機関名:(有)SKソリューション 職名:代表取締役 & NPO法人山形専門家ネットワーク会員 氏名:黒沼貞志 電話番号(内線):023-646-2448 E-メール(あるとき):s_kuro@tf6.so-net.ne.jp FAX(あるとき):023-646-2448					

(第5 - 2号様式)

受講生の状況：高校生以下（18歳以下）を除く

人 員	計 18人(男性 12人、女性 6人)						
年齢層	20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
		人	1人	7人	4人	5人	1人
職 業	教 員	公 務 員	会 社 員	団 体 職 員	自 営 業	そ の 他 の 就 業 者	学 生 ・ 主 婦 ・ 無 職
	1人	2人	8人	1人	4人	1人	1人

自営業には農業・商工業・その他の自営業も加えてください。

受講生の状況

高校生以下 (18歳以下)	0人
------------------	----

### 成果及び今後の課題等

様々な領域で地域づくりを目指す方々への「しくみづくり法」に照準を当てて、実践WSを志向し、スタート途中から参加者の理解を得て更に手法そのものへのトライアル体験を取り込んだが、最終結果は講座終了後の配布という選択肢とならざるを得なかった。

次回の機会があるなら、

\* 今回の内容

\* しゅみづくりのための「実践スキル」養成・訓練

といった内容も盛込みたい

### 受講者の声・感想等(アンケート結果等から一部抜粋)

講座企画内容について：

\* 他ではやっていない、バリエーションに富んだ多くの領域に触れられて良かった。

\* 今後に入れて欲しい企画(地域づくりを担う人材の発掘方法養成方法)

\* 更なる実践型、参加型を期待したい

講座回数：ちょうどよい(もう少し多くても・・・)

講座開催日、時間帯：土曜で良かったが、都合にて2講座/1日の時は時間が長すぎた

実行委員会構成：\* 夫々の役割と実践、生のトーク、WSが出来て良かった。

\* 実行委員会以外の外部講師の内容も良かった

受講料：\* ちょうど良い。

\*こんなに安くて良かったのでしょうか？

\*安いので助かった

受講者数 / 講座：少人数でよかった

### 生涯学習についての感想・意見

生涯学習という切り口は貴「ゆとり都カレッジ学習情報誌」の提供情報コースにもあるように非常に広範囲です。「地域づくり」という領域に限定してもそれでも対象を例えば産・学・官・民のどこに置くかなどで、学習しようとする方々にとっての「羅針盤（コンパス）」が必要と感じております。

「羅針盤（コンパス）」の提供とは、単に学習コースの紹介や事例紹介のみではなく個人が自らの課題を抱え、例えば明日、来月から一步踏み出そうとする際の、背中を押す手伝いだったり、自らが自力で進めていけるような基本的、実践的スキルの紹介、更にはそのスキルの実践的な養成・訓練の場の提供ではないかと感じております。

### NPO活動についての感想・意見

いまだにNPOへの誤解が多い中、NPOそのものの自立が出来ていないのが実情です（特に収益事業の部分にて）。

まさに、「経営マインド」が根付いていないことがその主要原因です。

今回の「まなび講座」をNPOの収益事業と位置づけるかどうかにもよりますが、もし、収益事業としてみる場合は、NPO山形専門家ネットワークが音頭をとる形で5つの団体の連携・広域事業として遂行しましたが、貴委託費無しには事業が成立しない現実は大きな課題です。

それは、事業のQ・C・D、即ち、講座内容の質（Q）、納期（D）、はクリアしたとしても、費用（C）を委託費なしに（あるいは少なくして）実行できてこそ自立したNPO活動の本当の収益事業と言えると思っています。